様式1

中部運輸局静岡運輸支局長　殿

書類を書いた日（提出する日）を記入↓

届出日　　年　　月　　日

新　規

# 貨物軽自動車運送事業経営届出書

今般、貨物軽自動車運送事業を経営したいので、貨物自動車運送事業法第36条及び同法施行規則第33条の規定により、関係書類を添えて届出いたします。

| 氏名又は名称並びに代表者の氏名及び住所（主たる事務所） | | 開始予定日 | ○年○月○日 |
|---|---|---|---|
| ふりがな | しずおか　たろう | | |
| 氏名又は名称 | 静岡　太郎 | （通称名：　静岡軽運輸　） | |
| 代表者氏名 | 法人の場合のみ代表者の役職及び代表者名を記載 | | |
| 住所 | 静岡県○○市○○町○丁目○番地 | | |
| 電話番号 | ○○○-○○○○-○○○○ | | |

車両の使用者名義にする個人名又は法人名を記載

軽貨物事業を開始したい日付を記入

屋号を記載なければ空欄でも可

個人の場合は住民票上の住所を、法人の場合は登記上の所在地を記載

**事業計画の内容　（住所と同じ場合は、□欄にチェックを入れる）**

なければ空欄でも可

住所と同じ場合はチェック

| 営業所名 | 営業所の名称及び位置<br>位　置 |
|---|---|
| 本店営業所 | 営業活動の拠点の位置を記入してください。自宅（上記住所）と同じとすることもできます。☑住所に同じ |

事業用自動車の種別ごとの数

| | 車両数 | 乗車定員 | | 車両数 | 乗車定員 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 軽（普通） | 1　両 | 2　名 | 軽（霊柩） | 両 | 名 | 二輪 | 両 | 名 |
| | | | | | | 種別 | 小型二輪　・　軽二輪 | |

排気量125ccを超えるもののみ届出

使用する車両の明細（車検証の写しの添付をもって省略可）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①年式 | RO　年 | 最大積載量 | 350　kg | ②年式 | kg | ③年式 | 年 | 最大積載量　kg |
| | □ 乗用車（5ナンバー）のまま使用 | | | | | | | |

乗用車を貨物車に構造変更する場合は【構造変更】と記載してください

軽乗用車をそのまま使用する場合はチェック

自動車車庫の位置及び収容能力

| 位　置 | 営業所からの距離 | 収容能力 |
|---|---|---|
| 車庫の位置を記入　☑住所に同じ | 0　m | 10　㎡ |

2kmまで

1台分の目安は10㎡

住所と同じ場合はチェック

乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力

| 位　置 | 収容能力 |
|---|---|
| 休憩又は睡眠施設の位置を記入　☑住所に同じ | 9．72　㎡ |

住所と同じ場合はチェック

運送約款　（該当する項目の□欄にチェックを入れる）

- ☑ 標準貨物軽自動車運送約款（平成15年国土交通省告示第171号）
- □ 標準貨物軽自動車引越運送約款（平成15年国土交通省告示第172号）
- □ その他運送約款

使用する運送約款にチェックを入れる

収容能力の目安
6畳間：9．72㎡
8畳間：12．96㎡

運行管理体制を記載した書面

| 所属営業所名 | 運行管理の責任者氏名 |
|---|---|
| 本店営業所 | 静岡　太郎 |

営業所名がなければ空欄でも可

忘れずにチェックを入れる

中部運輸局静岡運輸支局長　殿

**宣　　誓　　書**

- ☑ 届出にかかる自動車車庫については、私に使用権原があることを宣誓します。
- ☑ 届出にかかる自動車車庫の土地・建物は、都市計画法等の関係法令に抵触しないことを宣誓します。
- ☑ 貨物の運送に関し支払うことのある損害賠償の支払い能力を有することを宣誓します。

年　　月　　日

↑　届出日と同日を記入

住所　静岡県○○市○○町○丁目○番地
氏名又は名称　静岡　太郎

【備考：本届けを郵送にて提出される方へ】
①本届け正副各1通（副はコピーでも可能）②住所を記載した返信用封筒（所要額の切手を貼ったもの）を同封の上、以下の宛先まで提出して下さい。